



令和6年12月20日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
担当課長(環境影響評価・化学物質) 川瀬(972-2676)
課長補佐(有害化学物質対策) 水貝(972-2677)

地下水汚染の報告について

下記のとおり、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づき、地下水汚染の報告がありましたのでお知らせします。

記

- 1 報告者 ゲンキー株式会社
- 2 報告日 令和6年12月18日
- 3 報告の概要

- (1) 対象地名 ゲンキー店舗出店予定地
- (2) 所在地 名古屋市南区^{つつみおこし}堤起町一丁目
51番、52番1、52番2、53番1、
53番2、54番



この背景地図等データは、国土地理院ウェブサイト
の地理院地図を一部編集して使用している。

- (3) 対象地の概要 旧事業所(平成16年から令和5年10月)
2,999.91 m²(第1種住居地域)

(4) 汚染状況

項目	汚染物質	基準超えの 濃度範囲	基準に対する 倍率	基準	超過地点数 ／調査地点数※
地下水 調査	ふっ素及び その化合物	1.6～1.9 mg/L	2.0～2.4 倍	0.8 mg/L 以下	1／1

※ 調査対象地における平面図上で、試料採取によって評価した地点数を示します。

4 本市の対応

報告者に対し、適切な地下水汚染対策を実施するよう指導を行います。

また、周辺の井戸水の水質調査を行うとともに、念のため、周辺井戸所有者に対して井戸水を飲用しないよう指導します(飲用に使用している水が基準に適合している場合を除く)。

<参 考>

① 対象地において過去に公表した土壤汚染

	汚染物質	基準超えの濃度	基準に対する倍率	基準
土壤溶出量調査	ヒ素及びその化合物	0.017 mg/L	1.7 倍	0.01 mg/L 以下
	フッ素及びその化合物	0.9 mg/L	1.1 倍	0.8 mg/L 以下

② 基準を超過した物質の毒性について

【ふっ素及びその化合物】

急性毒性：NaF を 6 mg/日以上摂取し続けていると、ふっ素症となり、体重減少、悪心、嘔吐、便秘等をきたす。SiF₄では、胃軟化症、神経痛等を起こす。

一般成人が一度に 100 mg 以上摂取すると、腹部の激痛、嘔吐、悪心を起こし、2,500 mg 以上の摂取で中毒死する。

*100 mg は、今回の地下水の汚染物質濃度（1.9 mg/L）では、水 53 L に含まれる量になります。

慢性毒性：ふっ化物で中毒したラットの場合、腎臓における脂肪酸酸化酵素活性が著しく減少し、また、肝臓中の窒素及び脂肪含量が減少することが見い出されている。また、ふっ素中毒では、炭水化物の代謝障害も見られている。

飲料水等からふっ素を長期間過量に摂取した場合、飲料水のふっ素濃度2 ppm以上で斑状歯を生じ、8 ppm以上で骨硬化症となる。

発がん性：動物実験で発がん性を示すデータがない。

出典「改訂4版水道水質基準ガイドブック」
(下線部分は、名古屋市において挿入しました。)